

秋の沢集中@濁河温泉 濁河川榭谷

平成 24 年 9 月 15~17 日

ㄥ 齋藤、早川、薄田（記録）

秋の沢集中、濁河川榭谷。厳しい沢だと聞く。どうなることやら。

14 日（金）

早川さん宅を 9 時半に出発して、松本 IC、安房峠を越えて 3 時前に巖立公園 PA に到着。仮眠。

15 日（土）

車で林道のゲートまで行き出発。ゲートから林道を歩き、飛石沢を渡り、林道終点から踏み跡をたどり入渓。

今日中に圧倒的ゴルジュは抜きたいということで、緊張感をもって進む。しばらく進むと両側も切り立ってきて、いよいよかという感じになってくる。2 条 5m 滝を右から巻き、懸垂下降。そこから 2P の巻き。1P 目は齋藤さんがリードで取りつく。フォローしたが、上部は結構嫌らしい。与左衛門谷出会を過ぎ、左からすだれ状の滝が現れる。誰か曰く、ジブリの世界。本当に美しい風景だ。そこからしばらく歩くと、ところどころ、というか、いたるところにピンクテープが現れる。それに、倒木に切れ込みを入れたスタンスや金属杭のスタンスで整備されている。楽ではあるが少しつまらない。CS 滝を右から巻きしばらく進むと、回廊の滝。遡行図によれば、ここまででほぼ

ゴルジュを抜けているが、出だしの 2P の巻き以外は、ゴルジュっぽくもないし、特に難しいこともない。沢経験に乏しい私でもそう感じるくらいだ。齋藤さんや早川さんは、のんびり遡行モードに切り替えている。回廊の滝を左から巻き、続く 3 段の滝も左から巻く。ツガ谷出会を過ぎたところが本日のピバーク地。

夜は齋藤さんによるペミカンのラム肉カレー。ペミカンは話に聞くと相当まずいものかと思っていましたが、非常においしかった。



ゴルジュ出だしの巻き 1P 目



すだれ状滝



チョックストーン滝

- 7:00 ゲート出発
- 7:35 入溪
- 10:15 与左衛門谷出会
- 11:35 回廊の滝
- 14:40 ビバーク地点（ツガ谷出会の先）

16日（日）

朝は巻きからスタート。二つの滝をそれぞれ右、左から巻く。穏やかな沢歩き。2条8m滝を越えると、きれいなナメ。日の光に照らされて美しい。時間もたっぷりあるので、遡行図にすばらしいナメとある孫八谷に寄り道する。絶対に寄り道すべききれいなナメがこれでもかというほど続いている。この付近もピンクテープが非常に多い。

寄り道を終え、本流に戻る。しばらく穏やかな溪相。そして岩魚がたくさん泳いでいる。いや、うじゃうじゃと。今回の遡行を通して本当に沢山の岩魚がいた。禁漁区だからだろうかとも思ったが、経験豊富なお二人も驚いていた。しばらく行くと滝裏が通れそうな滝（大洞穴のある滝）。手前には平らな岩があり、昼寝

に最適だった。こんなところで一泊してみたいものだ。この滝を右から巻く。しばらくすすむと倒木のかかった滝が現れる。私が倒木と使ったのぼろうと試みるが、落ちそうで怖くて断念。次に齋藤さんが行くが、足をうまく使ってズリズリと這い上がっていく。真似してみると、非常に安定して登ることができる。その後現れる滝は左からの巻き。笹藪が結構大変だった。特に笹藪をトラバースしながら進むのは大変だというのがわかった。私は一生懸命進んでいるのに、すぐに二人が見えなくなる。きっと歩き方のコツがあるのだろう。巻きを終え、後はテント場を目指すのみ。明日の天気が微妙であるとのことで、林道の横切る橋の下が本日のビバーク地点。橋げたの小さなスペースにテントを張る。

夜は星空が美しく、近くには岩魚の稚魚が漂っている。そして食当の早川さんのベーコンスープで温まる。



孫八谷



大洞穴のある滝



木渡り

- 8:50 ビバーク地点（ツガ谷出会の先）
- 10:00 孫八谷
- 11:20 大洞穴のある滝
- 15:30 ビバーク地点（林道の橋下）

17日（日）

当初は林道で遡行をやめ、濁河温泉に向かう計画であったが、時間もあるし、物足りなさから、上部も遡行することになる。誰も異論はない。

いくつかの顕著な滝を越えれば、ドーンと大迫力、県知事命名の千畳の滝。右から巻き。3P。全体的に泥のついた岩。早川さんリードの2P目がいやらしい。

滝上からみると足がすくむほどの高さ。ここから緩やかなコルを越えて、藪を漕いで、林道に向かう。齋藤さんの確かなルート取りで、最短と思われる地点に降りる。12:00の集中時間まであまり時間もないので、すぐに進む。しばらく林道を行くと分岐。エアリア等の地図に載っていない新しい道が右に続いている。この道が濁河温泉まで続いている可能性はあるが、ここは地図に従い、兵衛谷の材木滝に続く破線ルートに向かう。しかし、入口は崩落していて道がない。その付近の薄い踏み跡に入ってみる。やがて踏み跡ははっきりしたもの、明らかに違う方向に進んでいる。結局、分岐まで戻る。そこで齋藤さんが工事小屋を覗くとおじさんがいる。聞いてみると新しい道は濁河温泉まで続いているようだ。一同ほっとする。集中場所が近づくと、心配してくれた白土夫妻と糸井さんが様子を見に来てくれていた。集合時間に遅れること1時間、集中場所に到着。

皆様ご迷惑をおかけしました。



千畳の滝

- 7:00 ビバーク地点（林道の橋下）
- 7:45 千畳の滝
- 9:30 千畳の滝の上
- 10:20 林道
- 12:55 集中場所（濁河温泉）